



Rotary



2016-2017 年度

国際ロータリー会長 / ジョン F. ジャーム
2690 地区ガバナー / 庄司 尚史

会長 / 田中 浩史
副会長 / 佐々木 哲也
幹事 / 小汀 泰之
会計 / 黒田 昌弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
4月27日	地区研修・協議会出席者	地区研修・協議会報告②
5月4日	休会	
5月11日	酒持田本店 18:30~	ロータリー財団 100 周年記念 チャリティー夜間例会
5月18日	会員増強会員維持委員会 18:30~	夜間例会 (親睦趣味の会)

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
43	33	10 (3)	82.50 %	— %

■欠席者

三好・杉原・飯塚俊・小村・石原俊・園山・山口
(山根 / 牧野 / 大谷厚)

■来訪者

なし

■メイクアップ

4/21 内田・高砂 (出雲南)
4/20 大島卓・福田・石原輝・釜屋・三好・小汀・田中久・恒松
日野・持田祐・園山 (家庭集会)

■次回例会受付当番

(5月18日) 土江光二 / 大島 治 / 大島卓爾
(5月25日) 大谷厚郎 / 大谷良治

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 5/1(-) 6/26	松江南 5/1 5/8
火	出雲 5/2(-) 6/27	松江しんじ湖 5/2 5/23
水	大社 5/10	松江 6/21 6/28
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東
金	出雲南	

■会長挨拶

テレビのニュースやワイドショーでは世の中は北朝鮮や森友学園の話ですが、今日は平和な話題を。先般、平田小学校の体育館が、4 年前に火災で焼失した跡地と給食センターの跡地に体育館が新しく完成しました。小学校では 4 年間体育館が無い状況が続いていましたが、日常の学校生活では隣接する平田体育館が重要なバックアップを果たしたのでと思います。私が昭和 41 年に小学校に入学したのは、旧栄町校舎でそのころは講堂と呼ばれていました。42 年の 3 学期に今の校舎に引っ越しましたが、体育館はなくて卒業式や主な行事は廊下や屋上で行われていました。4 年生ごろに平田体育館ができて、小学生にとってはそれが自分たちの体育館だともっていました。その後、先般焼失した体育館ができて、6 年の間に 3 つの体育館を使ったこととなります。当時の小学校の児童数は 1000 人が近く、大きな行事は、学校の体育館が完成後も平田体育館を使って行われていました。平田小学校は数年後に開校 150 年を迎える、島根県下で一番の歴史ある小学校です。そのあたりのお話は改めてしたいと思います。

■幹事報告

1. ロータリーレートの変更

5/1 より 1ドル 110円 (現行 116円)

2. 例会変更

○ 松江 RC 6/21(水) 最終夜間例会
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 ホテル一畑

3. 休会

○ 松江 RC 6/28(水) 定款第 6 条により
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 ホテル一畑

4. 5/11 夜間例会に欠席の方は準備の都合上 5/8 までに事務局へ連絡下さい。

■次年度幹事報告

5月8日(月) 18:30 より次年度理事・役員会を開催致します。

■理事会決定事項

○ R 財団 100 周年記念 平田 RC「ポリオ撲滅推進」親睦例会について
全会員から寄付金 1,000 円 (引落)
当日、出席会員からチャリティー募金 承認

■スマイル

佐々木 (地区研修・協議会報告2回目、よろしく願います。)
飯塚大 (5/11(木)ロータリー財団 100 周年記念ポリオ撲滅チャリティー例会
よろしく願います。酒持田さまよろしくおねがいします。)
大谷厚 (先週は一畑グループの台湾事務所開設記念として、日本側から
50 数名が参加して初めての現地商談会を開催しました。当日は
出雲大社の神職4名が参加し、本格的な友好祈願神事を執り行
い、台湾の方々から大いに好評を得ました。)
(久しぶりに例会出席します。遅ればせながら、飯塚俊之会員、大谷
良治会員、市議会選当選おめでとうございませう。今後のご活躍を
お祈り致します。)

河原 (所用のため早退させていただきます。)

■スピーチ・例会行事

「地区研修・協議会報告」

青少年奉仕部門

高砂 明弘 (代理)

カウンセラーに松本 PG、リーダーに次期第 4G 岩永 G 補佐。
アンケート集計により、1 点目いちばん多い事業はスポーツ関連の開催。次に文化、芸術に関するイベント。そしてローターアクト、インターアクト、青少年交換に対する支援。
青少年奉仕活動は、奉仕を目的とするのではなく、活動のリーダーを養成するものである。
2 点目は危機管理についての説明。なぜ青少年奉仕に危機管理が必要かについて。各事例が発表され、交換学生が交換先でセクハラを受けた。2011 年 3 月の東日本大震災の時の交換学生に対する行動がホームクラブとしてわからない。その他 2~3 の事例を発表。
今まで良いと思っていたこと、これがあたりまえだと思っていたことが、それで良いのか。改めていざという時に何をすべきか、きちんとルール マニュアルを作るべき。
最後に事業は単年度で終わるのではなく、長期計画を立てて事業を進めてほしい説明で締め括った。

国際奉仕部門

田中 浩史

次年度RI会長の、オーストラリア出身 イアン H. S ライズリー氏の、国際ロータリーのテーマは、ROTARY: MAKING A DIFFERENCE で、日本語訳は、「ロータリー: 変化をもたらす」です。difference は「違い・相違」、make a difference で「変化あるいは影響をもたらす」の意味となります。日本のSONYのキャッチフレーズは、Research makes the difference で、「研究は差をつける」の意味で、1960年ごろから使われていて、SONYの先見性をみる思いがします。

部門別協議会は、国際奉仕委員会と社会奉仕委員会が合同で開催され、鳥居パストガバナー・伊藤パストガバナー・森末第10グループガバナー補佐がリーダーとなって行われました。日本のロータリーが海外に援助する方法は多種ありますが、とかく日本からの援助は、最先端・最新の機器を贈ったとすると、現地の電力事情や環境や少しの故障でそれらの機器が使用できなくなって、眠っていたりする例が数多くあるようです。一例としてネパールの貧困女性の自立をテーマに交流活動をしているロータリークラブは、家庭に眠っている足踏みミシン・手回しミシンを収集してメンテナンスしたうえで贈呈している。コンピューター制御の最新のミシンは電気がなければ動かないし、わずかな故障でさえも応できないが、足踏みの機械式のミシンであればそもそも電気がなくても使用可能だし、故障にも現地で何とか対応できる。このような国際奉仕は、ミシンはごく一例であるが、十分に現地の事情を調査の上で対応することが必要。できるならば、現地のロータリークラブを介した活動が望ましい。そうでないと、受け入れの窓口や財務上の仕組みさえもできていない地域もあり、例えば領収書さえも発行ができない場合もある。

職業奉仕部門

伊藤 義徳

カウンセラーは元国際ロータリー理事、渡辺好政氏でした。

職業奉仕とは、自分の職業をもって社会に奉仕する事です。

即ち自分の会社で自分の自宅で行うものです。

私の立場としましては医療相談、無医村診療は社会奉仕であります。

昭和の大恐慌の時ロータリアンの破産はゼロでした。自分の会社をつぶさない！これが一番大事な事です。

自分の職業を盛んにし従業員に恩恵を与え、従業員は社会に貢献する事になります。職業を盛んにする方法として多能工を育てる事、即ち色々な仕事に対応出来る従業員を育てる事です。省エネにもなります。又、例会での各職場のスピーチが大事で、異業種の仕事を参考にする良い機会となります。

各クラブでの行事は、①職場訪問例会、②従業員表彰でした。

その他 四つのテストの唱和を行っています。

今回は植樹を奨励されています。